

表6-6 採草地・放牧地および更新地の施肥基準.

区 分	施肥量 (kg/10 a)							成分			
	草地化成		複合尿素	尿 素	重過石 熔 磷	タンカル	堆肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO
	212号	211号	燐加安777号	(46%)	(38%)	(20%)					
早 春	20			2.6				5.2	2.0	4.0	
採 一番刈後	10			4.1				3.9	1.0	2.0	
草 二番刈後	15							3.0	1.5	3.0	
耕地 三番刈後	5					10		1.0	2.5	1.0	
耕地 合 計	50			6.7		10		13.1	7.0	10.0	
内放 早 春		20						4.0	2.0	2.0	1.0
1) 牧 追 肥 ²⁾		45						9.0	4.5	4.5	2.3
地 合 計		65						13.0	6.5	6.5	3.3
更新地			30		30	50	100 2,000	5.1	26.5	5.1	
北山放牧地 (内施肥面積)		40		4.7				10.2	4.0	4.0	2.0

1) 表にあげた施肥基準は生草換算収量3 tとし、採草地には表5-7に示す通り、収量が1 t増すごとに草地化成212号を25 kg増しとする。また、放牧地については加里を窒素の半分とするため、草地化成211号を

2) 放牧地追肥は年3～5回に分施する。